

# 目次

はじめに—公民の授業づくり	5	第3章 民主主義の政治	117
第1章 日本国憲法と基本的人権の尊重	15	28 政治とは何か	122
1 日本国憲法の前文を読む	20	29 国民の代表を選ぶ	124
2 民主主義の思想	22	30 政党一助成金・公約・マニフェスト	128
3 帝国憲法の世の中	24	31 国会のしくみと国会議員	134
4 日本国憲法の成立	28	32 国会の仕事—法律ができるまで	138
5 国民主権下の天皇	32	33 議院内閣制のしくみ	142
6 基本的人権の尊重—個人の尊厳	34	34 内閣総理大臣の権限	146
7 福島原発事故と人権	36	35 行政権の拡大	148
8 教科書検定と思想・表現の自由	40	36 裁判とは何か—民事事件の裁判	152
9 秘密保護法と国民の「知る権利」	42	37 刑事事件の裁判と人権の尊重	156
10 職場と思想・良心の自由	46	38 裁判員裁判	160
11 靖国参拝と信教の自由	50	39 裁判所と司法権の独立	162
12 なくなる差別と偏見	54	40 地域社会と地方自治体	166
13 法の下での平等—障がいのある人と共に生きる	58	41 地方自治体の仕事としくみ	170
14 男女は平等になっているか	60	42 住民の権利	174
15 夫婦別姓問題を考える	62	43 住民運動と住民投票	176
16 生きる権利	66	《模擬選挙》	180
17 働く人たちの権利	70	第4章 私たちの暮らしと経済	181
18 女性の労働と差別	72	44 お金と社会	184
19 参政権—18歳選挙権の実現	74	45 家計	188
20 情報化社会と人権	78	46 商品の流通	190
21 メディアと人権	82	47 商品の価格	194
22 人権と国際連帯	84	48 物価とインフレ・デフレ	198
《憲法改正をめぐって—改憲手続き法》	88	49 消費者の権利	202
第2章 平和主義	89	50 生産のしくみと利潤	206
23 もう、戦争はしない—憲法第9条	96	51 株式会社	208
24 平和主義と自衛隊	98	52 企業の競争と独占	212
25 日米安保と米軍基地	102	53 銀行	216
26 解釈改憲と集団的自衛権	106	54 お金の取引	220
27 第9条の未来を考える	112	55 円高・円安	224
《平和主義の行方—自民党「改憲草案」第9条を読む》	116	56 好景気・不景気	228
		57 国（政府）の経済活動	230
		58 暮らしと税	234
		59 国の借金	238
		《「対立と合意」「効率と公正」を考える》	240

第5章 日本の社会と経済の課題 ……241

60 企業社会と働き方 ……244

61 過労死を防ぐ ……248

62 少子高齢社会と介護保険制度 ……252

63 社会保障制度のしくみ ……256

64 地域経済の再生 ……258

65 自然環境を守る ……260

66 放射能と環境問題 ……264

67 日本の農業と食料問題 ……268

68 日本の貿易とT P P ……272

69 これからの経済の課題 ……274

《「年金」を考える》 ……276

第6章 国際社会の課題 ……277

70 平和ってなに? ……280

71 国際連合とイラク戦争 ……282

72 絶えない地域紛争—パレスチナ問題 ……286

73 武力紛争とテロ事件—子どもたちの犠牲 ……288

74 南北問題—貧困の克服 ……292

75 グローバル化する国際経済—EUの行方 ……294

76 核兵器の廃絶 ……296

77 持続可能な開発—環境問題 ……300

78 資源とエネルギー ……302

79 近隣諸国との関係—歴史認識 ……304

80 平和を発信する ……306

《戦後70年—日本はどこに行こうとしているか》 310